

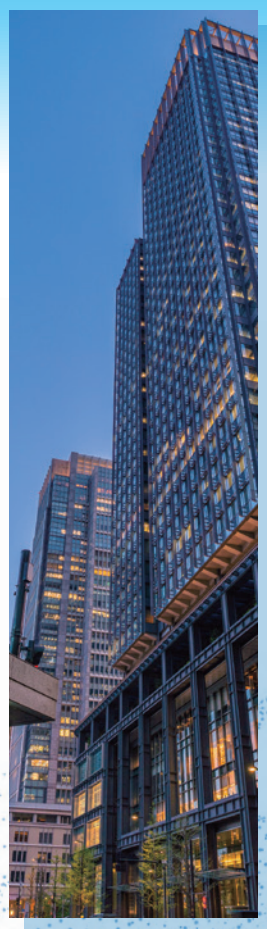
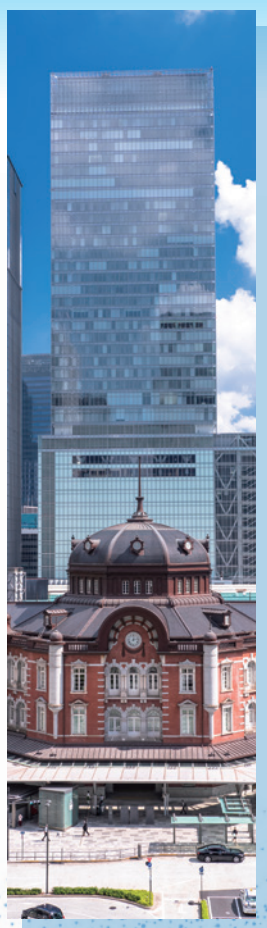
2026 TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY Master of Finance

東京都立大学大学院

ビジネススクールファイナンスプログラム

東京都立大学大学院 経営学研究科

経営学専攻 博士前期課程 修士[ファイナンス]



TOKYO
METROPOLITAN
UNIVERSITY

高度金融専門人材を 実務の世界へ

1

丸の内で平日夜間と土曜日の少人数制教育

金融機関の集積する丸の内地区で、少人数制による密度の高い教育を平日夜間と土曜日に行います。単なる座学の大学院ではありません。ゼミやケーススタディなど実践的な教育を配当し、修士論文執筆のための研究指導も行います。

2

深く学べる専門性の高い講義と、幅広い関連分野の講義

投資運用、デリバティブ、リスク管理、金融経済学分野について深く学ぶことができます。同時に、数値計算、データサイエンスなどの金融業務に関連する幅広い分野を体系的に学べます。

3

入試は書類選考と面接

入試は年2回(9月と2月)。入学はいずれも翌4月です。入学選抜は書類選考(研究計画書など)と面接(口頭試問)により行います。

Contents

- | | |
|----------------------------------|--|
| 03 MF Program Director | 10 Facilities — 教育環境 — |
| 04 Mission — ミッション — | 12 From Current Students — 在学生の声 — |
| 04 Characteristics — 特徴 — | 13 From Alumnae and Alumni — 修了生の声 — |
| 05 Faculty Members — 専任教員・特任教員 — | 14 Research Center for Quantitative Finance 金融工学研究センター |
| 08 Curriculum — カリキュラム — | 15 MBA Program — 経営学プログラム — |
| 09 Courses — 開講科目(予定) — | 15 MEc Program — 経済学プログラム — |

MF Program Director



室町 幸雄

東京都立大学大学院
経営学研究科 教授
ファイナンスプログラム
ディレクター

我が国の金融機関がグローバルに飛躍していくためには、これまで以上に高度なファイナンスの知識をもち、実践していく人材が求められています。

金融実務の最先端では、自らのアイディアにより、表現力の高い数理モデルや投資戦略の構築、適切なリスク管理技術の開発、新しい金融商品の開発やその定量的な評価・分析、バックテストなどを柔軟に行うことができる高度金融専門人材が必要とされています。実際に海外の国際金融都市では、ファイナンスの高度な専門教育を受けた学位を持つ人材が金融の最先端で実務を行っています。最近では、IT技術の進歩に伴うデータの種類と蓄積量の飛躍的な増大とデータ解析技術の進歩により、これまでよりも格段にデータを重視したきめ細かい対応が求められるようになり、かつ、そのニーズに対応が可能になっていくと考えられます。その過程で生じる膨大な情報と分析結果の中で、社会的・経済的に意味のある対応を的確に選択していくためには、ますますファイナンスの知識や考え方への習熟が必要になっていくことでしょう。ファイナンスプログラムは、このような実務環境の中で中核となって活動できる、高度なファイナンスの知識と実践能力を持つ人材を養成する大学院として開設されました。

本プログラムでは、少人数を対象に教員が時間をかけて指導する体制を構築しています。少人数制により、通常のいわゆる立ち講義は互いの顔がよく見える状態で進められます。また、ゼミ(ファイナンス演習)やケーススタディによる実践的な教育(ファイナンス考究)、実務家や実務経験のある教員による講義やディスカッションなどを効果的に配当し、さらに修士論文の執筆を義務付けることで、習得した知識を実務の現場で実践できるようになるための経験を効率的に積めるように工夫されています。

研究指導はマンツーマン、あるいはそれ以上の濃密さで行われます。一つ一つの課題に対する知識や技術の使い方を教員とともに考えていくことで、プログラム修了後、実際の金融機関の中でも使える実践的な問題解決能力を養っていきます。講義は平日夜間および土曜日に開講します。科目は分野ごとに基礎的科目から応用的科目まで順序立てて配置し、また、関連する分野の科目も広く配置しています。興味のある特定分野を深く学んでいただいてその分野のプロになるだけでなく、関連分野の基礎知識も同時に習得することで、修了後に金融機関の中でプロジェクトのコアとなって活動していける幅広い視野を持つ人材を育てていきます。また、経営学プログラム(MBA)及び経済学プログラム(MEc)の講義も履修できるので、ファイナンスのプロとしての知識と技術を持ち、かつ、幅広いビジネス感覚を持つ高度金融専門人材を養成していきます。

都は、2021年3月、明るい未来の東京を切り拓くための都政の新たな羅針盤として、『『未来の東京』戦略』を策定しました。この戦略を推進する「推進プロジェクト」の一つに『『国際金融都市・東京』実現プロジェクト』が掲げられており、「金融系外国企業・人材の進出支援」や「新たな市場の創設」、「高度金融専門人材の養成」などを通じて、東京が持つ強みを活かした戦略的取組を展開し、世界・アジアの金融ハブ「国際金融都市・東京」としての地位を確立するとしています。

東京都立大学においても、ファイナンスプログラム等を展開し、ESG投資の普及をはじめとする「国際金融都市・東京」の持続的・中長期的な成長の担い手となる人材を育成・輩出していくことが求められています。

国際金融都市・
東京の実現

Mission

— ミッション —

2016年4月、大学院社会科学研究科経営学専攻(当時。2018年4月に現在の経営学研究科経営学専攻に改組)は東京都の成長戦略の一環として、グローバルに活躍できる高度金融専門人材を養成するために修士(ファイナンス、Master of Finance)プログラム(略称：MFプログラム)を開設しました。

最先端の金融実務とアカデミクスは密接に関係しているため、欧米先進国では産官学が協調した高度な金融専門人材の養成が大学院レベルで行われているのが実情です。我が国の金融機関が国際的フィールドで輝きを放ち、東京都がロンドンやニューヨークと並ぶ国際金融都市の一角を占めるためには、こうした高度金融専門人材の養成が必要です。MFプログラムは、我が国の金

融ビジネスの中心に位置する丸の内地区において、国際的水準の教授陣による最先端のカリキュラムを提供し、国際金融都市のアカデミックな拠点を形成していくことを通して、実務で求められる高度金融専門人材を養成していきます。

MFプログラムが2016年に開設されてから今日までの間にも、世界的な金融実務の潮流も実務家のニーズも変化し続けています。本プログラムは、これまでの基本方針を維持しつつ、新たな変化にも柔軟に対応して、金融機関の実務家の幅広いニーズに応えていきます。

Characteristics

— 特 徴 —

グローバルに活躍する金融専門人材の養成

金融機関等での勤務経験がある実務家や、金融機関の投資運用部門への就職を希望する四年制大学卒業生を対象に、世界的な金融都市の中で中核となって活躍できる金融専門人材を養成します。

少人数の優秀な人材を対象にした密度の高い教育

「投資運用」「デリバティブ」「金融リスク」「金融経済学」分野を中心的なオブジェクトとして基礎から応用に至る科目を取り揃え、かつ、深く関連する「数学」「数値計算」「統計学・データサイエンス」分野の科目を効率的に配置したカリキュラムにより、ファイナンスの知識を体系的に習得できるようにしています。

本プログラムは単なる座学の大学院ではありません。ゼミ(ファイナンス演習)とケーススタディによる実践的な教育(ファイナンス考究)を必修とし、実務家教員による実践的な授業科目も提供します。

修士論文の執筆も義務付けることで、獲得した知識と技術を商品開発などの実務の現場に繋げるための経験を積むことができます。各分野の理論に精通した教員と実務経験を持つ教員が、少人数を対象に時間をかけて指導できる体制を構築しています。

金融ビジネスの中心、丸の内地区で 平日夜間と土曜日の開講

金融機関の方々にとって利便性の高い丸の内のサテライトキャンパスで、平日夜間と土曜日に開講しています。

国内外の実務とアカデミックが交流する研究拠点

併設する金融工学研究センターでは、最先端の研究を進める海外の研究者を招聘して英語のセミナーや講義を適宜開催しています。また、所属する教員自身が最先端のテーマの研究を行い、その成果を講義に反映させるように努めています。

国際ワークショップや公開シンポジウムなどを開催し、研究成果の発信や議論の場を設けています。また、研究セミナーなどを通して国内の公的機関や民間金融機関の実務家と頻繁に交流し、国際金融都市・東京の実現に資するべく、学術的な最先端研究拠点の形成を図っています。

Faculty Members

— 専任教員・特任教員 — 原則として、主査は専任教員の教授・准教授の中から決まります。2025年4月現在。来年度には変更もあります。



Tomonori Uchiyama
教授 内山 朋規

担当科目

ポートフォリオ理論、実証ファイナンス

経歴

京都大学大学院経済学研究科修了(博士(経済学))、野村証券金融工学研究センター、米国UCLAアンダーソンスクール客員研究員などを経て、現職

研究教育内容

専門分野は資産価格論(アセットプライシング)や投資運用理論です。金融市場における様々な資産を対象に、実証と理論の両面から、価格は如何に形成されているのか、如何に投資するべきかに関する研究を行っています。

主要業績

Iwasawa, S., and T. Uchiyama (2014) "The Beta Anomaly in the Japanese Equity Market and Investor Behavior," International Review of Finance 14(1), 53-73, 内山朋規他 (2017)「国内債券アクティブ運用のパフォーマンスとスマートベータ戦略」,『証券アナリストジャーナル』, 55(2), 69-80(証券アナリストジャーナル賞受賞)



Kohta Takehara
准教授 竹原 浩太

担当科目

クレジットデリバティブ、オプション理論、上級オプション理論

経歴

東京大学大学院経済学研究科修了(博士(経済学))。日本学術振興会特別研究員DC2、筑波大学システム情報系社会工学域助教を経て、現職

研究教育内容

デリバティブの価格評価やリスクヘッジに関する研究、特に実務で見られるような、価格やリスク量に対する解が得られない一般的なケースの解析を中心に研究しています。

主要業績

Naito, M., Saito, T., Takahashi, A. and Takehara, K., "Asymptotic Expansions as Control Variates for Deep Solvers to Fully-Coupled Forward-Backward Stochastic Differential Equations," forthcoming in PLOS ONE, (2025), Ando, G., Takehara, K. and Kobayashi, M. U., "Time-delayed feedback control of diffusion in random walkers," Phys. Rev. E 96, 012148-012153, (2017), Takehara, K., Toda, M. and Takahashi, A., "A General Computation Scheme for a High-Order Asymptotic Expansion Method," International Journal of Theoretical and Applied Finance, 15-6, 903-927, (2012)



Yukio Muromachi
教授 室町 幸雄

担当科目

期間構造モデル、信用リスク管理

経歴

東京大学大学院理学系研究科修了(理学博士(地球物理学))、京都大学大学院経済学研究科修了(博士(経済学))。富士総合研究所研究開発部、ニッセイ基礎研究所金融研究部門主任研究員を経て、現職

研究教育内容

金融リスクの計測・管理、及びデリバティブや証券化商品の価格付けに関する研究、特に市場・信用リスクの計測・評価を中心に研究を行っています。

主要業績

室町幸雄(編著)『金融リスクモデリングー理論と重要課題へのアプローチ』朝倉書店(2014)、室町幸雄『信用リスク計測とCDOの価格付け』朝倉書店(2007)、乾孝治、室町幸雄『金融モデルにおける推定と最適化』朝倉書店(2000)、木島正明 編著、乾孝治、室町幸雄(部分執筆)『金融リスクの計量化(下)クレジット・リスク』金融財政事情研究会(1998)



Kyoko Yagi
准教授 八木 恭子

担当科目

プログラミング基礎、金融数値解法、金融シミュレーション

経歴

南山大学大学院数理情報研究科修了(博士(数理情報学))。東京大学金融教育研究センター特任研究員、秋田県立大学システム科学技術学部助教を経て、現職

研究教育内容

コンピュータシミュレーションファイナンス、および金融工学のコーポレートファイナンスへの応用を中心に研究を行っています。

主要業績

Sato, K., Yagi, K. and Sawaki, K., "An Analytical Model of the Value of Mergers and Acquisitions Employing Profit Flows with Synergies," In: S. Nakamura, K. Sawaki and T. Nakagawa (Eds.), Probability and Statistical Models in Operations Research, Computer and Management Sciences, Springer, Germany, 55-79, (2024), 佐藤公俊・八木恭子・澤木勝茂, "感染症の確率的SIRモデルによるロックダウンの発出・解除に関する最適停止問題について," リアルオプション研究, 15, 1-16, (2023), 八木恭子・澤木勝茂,『証券投資理論』ミネルヴァ書房 (2018)



Tomooki Yuasa
准教授 湯浅 智意

担当科目

確率解析Ⅰ、確率解析Ⅱ、上級金融シミュレーション

経歴

立命館大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻修了(博士(理学))、日本学術振興会特別研究員DC2、立命館大学理工学部数理科学科助教を経て、現職

研究教育内容

株価を数学の分野から捉える確率微分方程式やオプションの感度を解析するMalliavin解析を専門とし、オプション価格の様々な数値計算手法の開発を行なっています。

主要業績

Yuasa, T., "Unbiased simulation method with the poisson kernel method for stochastic differential equations with reflection," Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics, 37(1), 263-282, (2020), Andersson, P., Kohatsu-Higa, A. and Yuasa, T., "Second order probabilistic parametrix method for unbiased simulation of stochastic differential equations," Stochastic Processes and their Applications, 130(9), 5543-5574, (2020), Akahori, J., Kinuya, M., Sawai, T. and Yuasa, T., "An efficient weak Euler-Maruyama type approximation scheme of very high dimensional SDEs by orthogonal random variables," Mathematics and Computers in Simulation, 187, 540-565, (2021), 他.



Toshinao Yoshiba
教授 吉羽 要直

担当科目

金融における最適化、金融リスク管理概論、市場リスク管理

経歴

東京大学大学院工学系研究科修了(修士(工学))、総合研究大学院大学博士(統計科学)。日本銀行金融研究所ファイナンス研究グループ長、金融機構局企画役等を経て、現職。

研究教育内容

金融リスク管理、計量ファイナンス、統計分析、金融データサイエンスに関する基礎的・実務的研究、特に、時系列構造・因子間の依存構造などを中心に研究しています。

主要業績

吉羽要直, 極値での従属性および非対称性と信用ポートフォリオリスク, 日本統計学会誌 51(1), 157-178, (2021), Yoshiba, T., "Maximum Likelihood Estimation of Skew-t Copulas with Its Applications to Stock Returns," Journal of Statistical Computation and Simulations, 88(13), 2489-2506, (2018), Yamai, Y. and Yoshiba, T., "Value-at-Risk versus Expected Shortfall: A Practical Perspective," Journal of Banking and Finance, 29(4), 997-1005, (2005), 他



助教 JIN HUIXING

経歴

モナシュ大学大学院修了(修士(応用計量経済学))、大阪大学大学院経済学研究科修了(博士(経営学))。中航証券(北京)市場研究部を経て、現職

研究教育内容

「ある国の特徴は世界の常識では必ずしもない」という観点から、その国特有のデータを使った幅広い理論分析、実証分析を行っています。

主要業績

JIN HUIXING 「東証における日内モーメント現象に関する研究」, 『証券アナリストジャーナル』, 61(11), 92-106 (2023)



Takanori Adachi
特任教授 足立 高德

担当科目

アルゴリズム取引

経歴

東京工業大学大学院理工学研究科修了(理学修士)、一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了(博士(経営))、Morgan Stanley & Co.(ニューヨーク本社)、立命館大学理工学部客員教授、東京都立大学大学院経営学研究科教授などを経て、現職

研究教育内容

圏論的確率論のファイナンスへの応用、特に金融リスク尺度や確率制御を主に研究しています。またアルゴリズム取引の理論と実際について、機械学習の応用も含めて研究しています。

主要業績

足立高德『アルゴリズム取引』朝倉書店(2018)、足立高德『C++入門』CQ出版(1988)、足立高德(共訳)『注解C++リファレンス・マニュアル』トッパン(1992)、足立高德(訳)『プログラミング言語AWK』トッパン(1989)、Adachi, T. and Ryu, Y., "A Category of Probability Spaces", J. of Math. Sci. Univ. Tokyo, 26, 201-221 (2019)



Tomio Arai

特任教授 新井 富雄

担当科目

コーポレートファイナンス理論

経歴

ペンシルベニア大学MBA。野村総合研究所／野村マネジメント・スクール研究理事を経て、東京大学教授（現在は名誉教授）。他に証券アナリスト協会副会長などを兼務。

研究教育内容

コーポレート・ファイナンス、企業価値評価、ポートフォリオ運用の理論および実務への応用について研究を行っています。

主要業績

新井富雄(共著)『新・現代の財務管理』有斐閣(2023)、新井富雄「資本コストと企業価値」『証券アナリストジャーナル』, 57(5,6,7,8,9)、新井富雄(共著)『コーポレート・ファイナンス:基礎と応用』中央経済社(2016)、新井富雄「資本市場と株主アクティビズム」『証券アナリストジャーナル』,47(1)、新井富雄(共編)『検証 日本の敵対的買収』日本経済新聞出版社(2007)



Yasuyuki Kato

特任教授 加藤 康之

担当科目

資産運用論

経歴

東京工業大学修士(理学)、京都大学博士(経済学)。野村総合研究所、野村證券(株) 金融工学研究センター長、同社執行役、京都大学教授(現在客員教授)を経て京都先端科学大学教授。他にGPIF経営委員、証券アナリストジャーナル編集委員長など兼務

研究教育内容

ファイナンス、投資理論、ESG投資およびその実務への応用を研究しています。

主要業績

加藤康之共著「社会的リターンは経済的リターンにつながるか—因果連関モデルによる ESG 投資の未来シミュレーション分析—」証券アナリストジャーナル 2022.2 (2022) 67-79、加藤康之共著 "The Emergence of ETFs in Asia-Pacific" Springer (2019)、加藤康之編著『ESG 投資の研究—理論と実践の最前線』一灯舎 (2018)



Hiroshi Takahashi

特任教授 高橋 大志

担当科目

ファイナンス特別講義(機械学習)

経歴

東京大学工学部卒業。筑波大学博士(経営学)。岡山大学准教授、キール大学(ドイツ)経済学部客員研究員等を経て、現在、慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。

研究教育内容

ファイナンスおよび計算機科学に関する研究をしています。

主要業績

"Agent-Based Approach to Investors' Behavior and Asset Price Fluctuations in Financial Markets." JASSS, 6(3), (2003)(共著), "An Analysis of the Influence of dispersion of valuations on Financial Markets through agent-based modeling." IJITDM, 11(1), (2012), "Interdependencies of female board member appointments." International Review of Financial Analysis, (2022)(共著), 『ファイナンス』中央経済社(2020) (共著).



Takaki Hayashi

特任教授 林 高樹

担当科目

金融データサイエンス、金融時系列解析

経歴

シカゴ大学Ph.D.(統計学)。日本興業銀行勤務の後、コロンビア大学大学院統計学研究科助教授を経て、現在、慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。2004年東京大学大学院数理科学研究科COE特任助教授。

研究教育内容

計量ファイナンス、金融計量経済学、金融データサイエンス分野の研究、特に、高頻度データを使った証券価格間の相関や先行運行関係、市場クオリティの評価の方法等に関する研究を行っています。

主要業績

Hayashi, T. and Nishide, K., "Strategic liquidity provision in high-frequency trading," International Review of Financial Analysis, 93, 103168, (2024), Kariya, T., Kurata, H. and Hayashi, T., "A modelling framework for regression with collinearity," Journal of Statistical Planning and Inference, 228, 95-115, (2024), Hayashi, T. and Koike, Y., "Wavelet-based methods for high-frequency lead-lag analysis," SIAM Journal on Financial Mathematics, 9(4), 1208-1248, (2018), 林高樹・佐藤彰洋「金融市場の高頻度データ分析」朝倉書店 (2016)



Chiaki Hara

特任教授 原 千秋

担当科目

金融経済学、ファイナンス特別講義(証券市場の均衡分析)

経歴

ハーバード大学大学院修了(Ph.D.)。University College London、University of Cambridgeを経て、現在、京都大学経済研究所教授

研究教育内容

ミクロ経済学や一般均衡理論の分析手法を使って、最適ポートフォリオや資産価格の研究を進めています。

主要業績

Hara, C. and Honda T., "Implied Ambiguity: Mean-Variance Inefficiency and Pricing Errors," Management Science, 68(6), pp.4246-4260, (2021), Hara, C., Huang, J. and Kuzmics, C., "Effects of Background Risks on Cautiousness with an Application to a Portfolio Choice Problem," Journal of Economic Theory, 146, pp.346-358, (2011), Hara, C., "Heterogeneous Impatience in a Continuous-time Model," Mathematics and Financial Economics, 2, 129-149, (2009)

Curriculum

－ カリキュラム －

平日夜間

5 限 18:20－19:50

6 限 20:00－21:30

土曜日昼間

1 限 10:30－12:00

2 限 13:00－14:30

3 限 14:40－16:10

4 限 16:20－17:50

◇主に平日夜間及び土曜日に授業を行います。

◇M1年次には、集中的なスクーリング学習によりファイナンスとそれに
関連する知識を体系的に習得します。ファイナンス演習(ゼミ)では研究
活動への導入も行います。

◇M2年次には、ファイナンス考究(ケーススタディ)や特別研究(研究遂行の
ためのより専門的な演習)などを中心とした手厚い個別指導を行います。

◇経営学プログラム(MBA)および経済学プログラム(MEc)の授業も履修
できます。

◇外国人研究者・実務家による先端的な内容の講義を英語で受けることが
できます。

◇標準修業年限2年の中で、基礎科目から12単位(1科目2単位)以上、ファ
イナンス演習(2単位)・ファイナンス考究(2単位)・特別研究(4単位)
を履修し、合計30単位以上を取得して、修士論文の審査に合格すること
で修士(ファイナンス)(Master of Finance)の学位が授与されます。



東京都立大学大学院経営学研究科ファイナンスプログラム(MF)は、CFA協会との提携のもと、CFA協会 University Affiliation Program(大学提携プログラム)に参加しています。MFカリキュラムの実践的な専門性とCFA試験を目指す学生に適したものであることが認められたものです。MFから選考されたMFの在学学生は、CFA協会資格試験受験のためのScholarship(奨学金)を受けることができます。

Courses

— 開講科目(予定) —

OBJECTS

投資運用

基礎

- ポートフォリオ理論
- 資産運用論

応用

- 実証ファイナンス
- 債券投資と ALM

リスク管理

基礎

- 金融リスク管理概論

応用

- 市場リスク管理
- 信用リスク管理

デリバティブ

基礎

- オプション理論
- 期間構造モデル

応用

- 上級オプション理論
- クレジットデリバティブ
- ファイナンス特別講義 (Bloomberg を活用した定量分析)

金融経済学

基礎

- 金融経済学
- コーポレートファイナンス理論

応用

- ファイナンス特別講義 (証券市場の均衡分析)

METHODS

数学

入門

- ファイナンス特別講義 (ファイナンス数学)

基礎

- 確率解析 I
- 確率解析 II

数値計算

入門

- プログラミング基礎

基礎

- 金融数値解法
- 金融シミュレーション

応用

- 金融における最適化
- 上級金融シミュレーション

統計学・データサイエンス

基礎

- 金融データサイエンス

応用

- 金融時系列解析
- アルゴリズム取引
- ファイナンス特別講義 (機械学習)

- ファイナンス特別講義
- 金融工学特別講義 (英語による講義)
- ファイナンス演習 (ゼミ)
- ファイナンス考究 (ケーススタディ)
- 特別研究 (研究遂行のためのより専門的な演習)

その他の科目も開講しています。

Facilities

— 教育環境 —



効果的な学習を支援する
充実した施設



金融の拠点である丸の内(丸の内永楽ビルディング)にサテライトキャンパスを開設し、セミナー等も開催可能な教室、PC教室、学生ラウンジ(PC付き自習スペース)、学生談話室などを完備し、さまざまな金融データも活用できます。



PC教室の設置と
データベース

定評のある統計解析・数式処理およびデータマイニングのソフトを揃えたPCが準備されており、講義や自習に活用できます。また、Bloomberg、DATASTREAM、日経NEEDS、QUICK FactSet、QUICK Workstationなどの標準的なデータベースも利用可能です。





デュアル48コア、4GPUの
高性能計算サーバーの設置



ファイナンス分野の学術研究用として、デュアル48コア、4GPUの高性能計算サーバーがあり、大規模シミュレーションや機械学習などの高速計算を行うことができます。

書籍
豊富なオンラインジャーナルや

各講義に用いられるテキスト・参考文献を中心とした多くの和洋専門書が、自習スペースで閲覧可能です。大学で各出版社と包括契約しているジャーナルのほか、本プログラムで独自に契約したさまざまなファイナンス関連のジャーナルもオンラインで利用可能です。本学南大沢キャンパスおよび他大学所蔵の文献についても、ビジネススクールの事務室を通じて、貸出申し込みを行うことができます。膨大な学術文献を検索、閲覧、ダウンロードして研究を進めることができます。



早川 功基 | 2024 年度入学 信金中央金庫 ソリューション戦略部

>>>入学の動機を教えてください。

金融の世界では、一見すると関係のないように見える数学や物理学、さらにはさまざまなプログラミング言語が、水面下で実務に広く活用されています。私はこれまで、市場リスク管理やデリバティブ商品のプライシング、パーゼルⅢに基づく規制対応などに従事してきましたが、こうした業務には高度かつ幅広い知識が求められ、独学には限界を感じていました。

また、最先端のアカデミアの知見や、同じ志を持つ他社の実務家の考えに触れる中で、より体系的に学びたいという思いが強まり、大学院への進学を決意しました。

本プログラムに興味を持ったきっかけは、実際に本中金で活躍されている卒業生の姿を見て、自分もそのように成長したいと感じたことです。さらに、本学は他の大学院と比較してファイナンスに特化した実践的な科目が豊富であり、実務経験のある教授陣から、実務家の視点に基づいた教育を受けられると思いまして入学を決めました。

>>>入学して思うことをお聞かせください。

私は体系的かつ幅広く学ぶことを目的に多くのカリキュラムを履修しましたが、学びたいと考えていた内容のほとんどを網羅する、多彩な科目が設置されていると感じています。伝統的なファイナンス理論に加えて、近年注目されているファイナンス分野への機械学習の応用やESG投資まで、非常に幅広い分野を包括的に学ぶことができます。

どの講義においても、先生方は丁寧かつ熱意をもって指導していただき、金融実務家としての視野と知識が大きく広がったと実

感しています。学生一人ひとりのバックグラウンドに応じたサポートもあり、基礎から段階的に学べる点も大きな魅力です。

さらに、先生方との距離が近く、講義時間外でも気軽に講義内容や研究について相談できる環境が整っています。講義と異なる分野の質問に対しても、関連書籍や論文、先行研究を紹介していただけるため、効率的に理解を深めることができています。

本プログラムでは、学生数以上の教員が在籍しており、研究指導においても多様な視点からアドバイスをいただける点が大きな強みです。こうした恵まれた環境のもと、非常に密度の濃い学びを実現できていると感じています。

>>>これから入学を検討している方へメッセージをお願いします。

ファイナンスプログラムには、実務の最前線で活躍された先生方も多く在籍しており、実務での活用を強く意識した講義が展開されています。理論だけでなく実践とのバランスを重視したカリキュラムにより、金融実務で“使える”知識やスキルを着実に習得できるため、実務家にとって非常に有益なビジネススクールだと感じています。

講義の内容は高度ですが、課題やプレゼンテーション、関連書籍・論文の精読などを通じて、自らの成長を強く実感できる充実した学びがあります。さらに、多様な専門性をもつ先生方からの手厚いサポートを受けられる環境が整っているため、ファイナンス理論を実務の武器として高いレベルで活かしたいと考えている方には、まさに最適なプログラムです。

自らの可能性を広げたいという意欲を持つ方に、ぜひこの学びの場をお勧めしたいと思います。

浜田 想一 | 2024 年度入学

>>>入学の動機を教えてください。

私は数学科の学部を卒業後、社会人経験を経ずに本学のMFプログラムへ進学しました。金融工学には以前から関心がありましたが、体系的に学んだ経験はなかったため、専門的に学べる本プログラムに大きな魅力を感じました。特に、金融工学の中でも多様な分野に精通した教授陣が揃っている点が、入学の決め手となりました。

>>>入学して思うことをお聞かせください。

本プログラムは、2年間でファイナンスの研究を完遂することを目的として構成されており、非常に充実した大学院生活を送ることができています。1年次には、基礎的な測度論から確率微分方程式までを網羅する確率解析の授業、研究で用いるシミュレーションのためのプログラミング演習、オプション価格評価の理論を学ぶ講義など、修士論文執筆に必要な知識を体系的に習得できます。特にデリバティブ関連の授業では、基礎理論の理解を深めた上で価格評価の応用まで扱うため、スムーズ

に理解を進めることができました。内容は高度ではありますが、MFは少人数制であるため質問しやすい雰囲気があり、授業後に気軽に疑問を解消できる点も魅力の一つです。

また、実務経験を持つ同期と切磋琢磨できる点も、通常の大学院では得難い貴重な経験です。実際に学びを深めていく中で、金融工学は実務を基盤とした学問であることを実感しました。実務家の方々との意見交換を通じて、理論と現実のギャップを知ることができ、大変刺激的な学びを得られています。

>>>これから入学を検討している方へメッセージをお願いします。

金融工学を専門的に学ぶ場として、本プログラムは社会人の方はもちろん、学生の方にも自信を持っておすすめできる環境です。マンツーマンや時にはそれ以上の手厚い指導体制のもと、ファイナンスに関する高度な内容まで深く学ぶことができます。教員の方々の丁寧なサポートや、研究に必要なデータベースなどの環境も整っており、2年間で大きく成長できるプログラムだと実感しています。

佐藤 貴志 | 2024 年度修了 農林中央金庫 リスク統括部 金融技術班

私はリスク管理部門で会計時価・リスク計測に関するモデル開発・管理業務に携わっています。実務の中ではデリバティブはリスク計測について高度な知識が要求されるため、それらの分野について基礎から体系的に学ぶ必要性を感じていました。また、債券運用の実務経験があったため、投資運用に関する学術研究にも興味を持っていました。本学のファイナンスプログラム（MF）では、これらの内容を体系的かつ限られた時間で効率的に学ぶことができると考え、入学を決めました。

本プログラムの特徴は、専門的な内容を基礎から着実に学習できる点です。1年次は基礎科目から始まり、学生の人数が少ないため手厚い指導を受けることができます。実際に手を動かして課題に取り組む中で、教員や同級生とディスカッションする機会も多く、初学者でも知識・技術を習得できる内容となっています。2年次は修士論文の執筆が中心となりますが、発展的な科目も設けられており、興味関心に応じて専門性を高めることができます。

修士論文の執筆にあたっては、学術研究と実務の違いに戸惑うこともありましたが、指導教員だけでなく複数の

の先生方や同級生から様々な視点のコメントをいただき、着実に進めることができました。短い期間で納得できる結果を示すことは簡単ではありませんが、恵まれた環境の中で試行錯誤を繰り返し、論文を完成させることができ、大きな達成感を得ることができました。

一方で、仕事・家庭・学業に並行して取り組むことは入学時に想像していた以上に大変でした。特に、2年次の修士論文執筆では課題設定からその解決まで自分で考える必要があり、学業に割く時間が増えたため、限られた時間の中で職場や家庭での役割を果たすために効率的な時間の活用を心掛けました。苦しい時もありましたが、職場や家庭の協力に加え、先生方からの助言や同級生との交流が励みになりました。

本プログラムでは、充実したカリキュラムにより知識・技術を習得できたことはもちろん、志の高い方々と励まし合いながら切磋琢磨できたことが大変貴重な経験になりました。今後のキャリアにとって大きな意義のある2年間を過ごすことができたと感じています。

澤村 夏野 | 2024 年度修了 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー

私は学部では数学を学び、特に確率論における理論などが金融の世界でどのように応用されているのかに関心を持ち、学部から直接MFに進学しました。

MFでは、リスク管理やデリバティブプライシング、コーポレートファイナンスといった基礎的な内容から、ESG投資や機械学習などの最新テーマまで幅広く学ぶことができます。講義を通じて、数学の理論が金融の現場でどう生かされるかを肌で感じると同時に、実務経験のある先生方から理論だけでは解決が難しい場面の話も伺えたのは、大変参考になりました。

少人数制ならではの密度の高い指導も、このプログラムの大きな魅力だと感じました。研究では、3人の先生方から毎週多角的なアドバイスをいただき、自分では気

づけなかった新たな視点や考え方を学ぶことができました。先行研究を踏まえて課題を設定し、試行錯誤を重ねて研究する中で、簡単に答えが出ない問題にも粘り強く取り組む思考の忍耐力が身についたと感じています。

学部卒での進学を迷う方もいるかもしれませんが、私は多様なバックグラウンドを持つ方々と共に学ぶことで多くの刺激を受けることができました。社会人の方々と交流を通じて、知識だけでなく実務的な視点も得られ視野が大きく広がる経験になったと感じています。こうした経験は今後の学びや仕事において大きな財産になると思います。

金融工学研究センター

Research Center for Quantitative Finance



内山 朋規

東京都立大学大学院 経営学研究科 教授
金融工学研究センター長

金 融工学研究センターは、国際金融都市・東京の発展に向けて、学術的な最先端の研究拠点となることを目指し、金融ビジネスの中心地である東京丸の内地区において2015年に設立されました。学術界と実務界の国際的な連携を通じて、ファイナンス・金融工学の研究の発展を図ってゆきます。

当研究センターの第一の目的は、「最先端の研究」です。高度な金融実務の実践的課題を解決するため、ファイナンス・金融工学における最先端研究を実施します。金融機能の集積は東京の強みです。東京が国際金融センターとしての地位を向上させることは、経済全体の持続的成長を長期的に維持・発展させるための重要な成長戦略です。そのためには、ファイナンス・金融工学の学術的発展が必要不可欠であり、金融経済学、数理ファイナンス、金融計量経済学、データサイエンス、情報技術などの分野において国内外の第一線で活躍する研究者や専門家と連携し、研究を推進します。

第二の目的は「実務との連携」です。金融・資本市場は日進月歩であると同時に、実務と研究の距離が近いという特徴があります。実際に海外の国際金融都市では、実務界と学術界の交流が人的な移動も含めて盛んで、実務的な諸問題が学術研究の対象になり、学術研究の成果が即座に実務に応用されています。当研究センターでは、国内外の大学・研究機関だけでなく、金融機関や公的機関、業界団体や各協会とも連携して、研究を推進します。加えて、シンポジウム、セミナー、国際ワークショップ、研究会の開催を通じて、研究成果を広く社会に還元するとともに、実務家と研究者の交流の場を形成します。

第三の目的は「教育への貢献」です。当研究センターは、大学院教育における高度金融専門人材の養成や次世代のファイナンス・金融工学を担う研究者の育成の拠点としても積極的な役割を果たしていきます。具体的には、国内外の優れた研究者を招き、共同研究だけではなく、大学院生への講義を提供しています。また、当研究センターが開催するセミナーや研究会での発表を通じて、センター所属の多数の教員が指導することにより、学位論文の研究を促進します。



URL <https://www.biz.tmu.ac.jp/quantitative-finance/>

経営学プログラム(MBAプログラム)は2003年に設置されました(当時は東京都立大学大学院の高度専門職業人養成プログラム)。以来20年以上にわたって、ビジネス環境を分析し経営戦略を立案する能力、組織や制度を設計し変革する能力、そしてビジョンと高い志を兼ね備えて果敢な意思決定ができるビジネスパーソンを養成してきました。プログラムの大きな特徴は、第一線の研究者でもある専任教員を中心にした高度な少人数教育にあります。単なるノウハウを教えるのではなく、最先端の研究成果をも踏まえたマネジメントの本質に迫る授業がおこなわれています。提供されている主な科目は「経営学」「経営組織」「ヒューマン・リソース・マネジメント」「意思決定」「経営戦略」「経営戦略演習」「テクノロジー・マネジメント」「ベンチャービジネス」「マーケティング・マネジメント」「マーケティング・サイエンス」「数理最適化」「統計学基礎」「管理会計」「財務会計」「データサイエンス概論」などです。経営組織、経営戦略、マーケティング、データサイエンス、会計学の分野を中心に多彩な科目が提供されています。修了生は民間企業や行政組織など各方面で活躍しており、大学の研究者になった人もいます。

MBA Master of Business Administration Program

— 経営学プログラム —

MEc Master of Economics Program

— 経済学プログラム —

MFプログラムと同じく経営学研究科に設置された経済学プログラム(MEc)は、教養の経済学ではなく、その先の大学院レベルの経済学を学び専門性を身に着けたいというニーズに応える博士前期課程(修士課程)のプログラムです。入学者は、近代経済学を専門とする経済学プロジェクトか、歴史からの分析を専門とする経済史プロジェクトのどちらかに所属します。コア科目と応用科目の履修、特別演習と修士論文の作成などを通じて、学術論文の理解、経済モデルの作成、データ分析、経済社会の事実の再検討などができる力を養います。スタッフの多くは、これまで学術研究に携わり経済学や関連する分野の国際学術誌に論文を発表してきた研究者で、これらのスタッフが少人数教育による丁寧な指導を行っています。

MFプログラムやMBAプログラムと同じ丸の内サテライトキャンパスで、平日の夜間ならびに土曜日に授業を行います。履修については相互に乗り入れがあり、MFプログラムの院生も科目を履修することができます。

詳細については、必ず公式の学生募集要項でご確認ください。
募集要項は下のURL、またはQRコードのページからご覧いただけます。

■ 募集定員

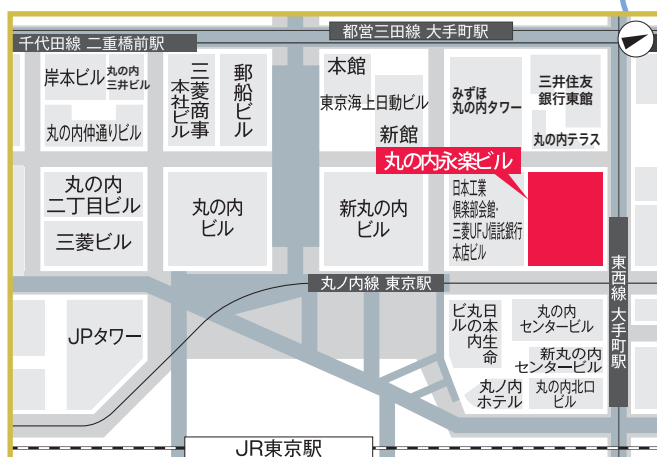
経営学専攻:50 名(経営学プログラム、経済学プログラム、
ファイナンスプログラムの合計)ファイナンスプログラムで
は 10 名程度を予定しています。募集定員に満たない場合でも
入学を許可しないことがあります。

■ 選抜方法

選抜は9月と2月に実施予定。
提出された書類(研究計画書、志望理由書、自己申告書など)
と本研究科で実施する学力試験(口頭試問)の結果により総合
的に判断して決定します。

■ 納付金等(予定額)

入 学 料: 東京都の住民…………… 141,000 円
 その他の者…………… 282,000 円
授業料(年額) …………… 520,800 円



アクセス
マップ

丸の内サテライトキャンパス

東京都千代田区丸の内 1-4-1
丸の内永楽ビルディング18階
TEL. 03-6268-0521

* 入試関係のお問い合わせ先

東京都立大学管理部 経済経営学部教務係 大学院担当

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

TEL.042-677-1111(内線 1715、1716)

入試関連等の情報は、ホームページにて随時更新して参ります。

<https://www.biz.tmu.ac.jp>

スマートフォン・タブレット
の方はコチラから

